

市議会だより

令和8年
第1回定例会
第296号

令和8年(2026年)
5月19日発行



第72回小金井桜まつりの様子（3月28日、29日都立小金井公園内）



新年度予算を可決

都市計画道路の調査費を削る動議成立を踏まえ

2本の決議を全会一致で可決

- ・アメリカ、イスラエル及びイランにおける平和の即時実現を求める決議
- ・障害者交通手当支給対象者への配慮を求める決議

第1回臨時会の概要

令和8年第1回臨時会（斎藤康夫議長）は、2月5日に開会し、同日閉会しました。

今臨時会では、専決処分の報告及び承認について（令和7年度一般会計補正予算（第8回）及び物価高騰対応生活応援給付金給付に要する経費等を計上した、令和7年度一般会計補正予算（第9回）を審議しました。

第1回定例会の概要

令和8年第1回定例会（斎藤康夫議長）は、2月16日に開会し、3月23日に閉会しました。

令和8年度一般会計予算を可決

令和8年度一般会計予算は、総額が前年度比約4.2%の増加となる、歳入歳出それぞれ546億円で提案されました。

審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会（水谷たかこ委員長）に付託し、7日間に及ぶ審査を行いました。

3月23日の本会議では2件の組替え動議が提出され、そのうち1件を可決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。（詳細は2面に掲載）

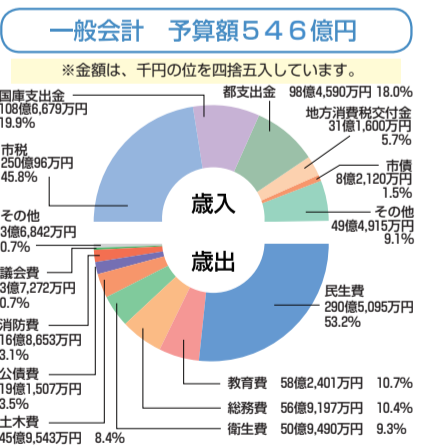
なお、一般会計以外の国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別

アメリカ、イスラエル及びイランにおける平和の即時実現を求める決議を可決

3月23日の本会議において、国及び関係各国の政府に対して、全ての国が国連憲章や国際法を遵守する義務を有すること及び全ての国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認し、アメリカ、イス

障害者交通手当支給対象者への配慮を求める決議を可決

3月23日の本会議において、障害者交通手当支給対象者へ、制度の変更が暮らしや社会参加へのハードルとならないよう丁寧の説明とともに、実態を把握すること、また特に利用頻度が高く、生



令和8年第1回臨時会日誌

5日 本会議（議案の審議・採決）

令和8年第1回定例会日誌

16日 本会議（議案の審議・採決、陳情の採決、令和8年度施政方針の質疑）

17日 本会議（令和8年度施政方針の質疑、議案の審議、委員会付託）

18日 本会議（議案の審議、委員会付託）

24日 本会議（一般質問）

26日 本会議（一般質問）

27日 本会議（一般質問）

2日 本会議（一般質問、議案の訂正、議案の審議、委員会付託、陳情の委員会付託）

3日 本会議（議案の審議、委員会付託）

4日 厚生文教委員会

5日 建設環境委員会

6日 総務企画委員会

9日 予算特別委員会

10日 予算特別委員会

11日 予算特別委員会

12日 予算特別委員会

13日 予算特別委員会

16日 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

17日 議会運営委員会

18日 厚生文教委員会

23日 建設環境委員会

23日 予算特別委員会

23日 本会議（委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）



議案の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(病気療養) 議：議長(原則、採決には加わらず)														議決結果										
		み	自	共	公	子	お	参	ネ	街	れ	見	緑	付												
付託先略称		天	沖	吉	岸	鈴	河	吹	遠	た	水	森	太	中	小	渡	片	水	な	齋	安	街	れ	見	緑	付
即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会		野	浦	良	田	木	野	春	藤	ゆ	上	戸	田	井	林	辺	山	谷	が	藤	田	水	村	藤	坂	託
		か	あ	の	の	成	美	す	合	久	洋	よ	宏	れ	正	か	か	た	と	康	け	清	上	川	井	先
		な	つ	こ	こ	夫	美	た	子	貴	志	子	徳	子	樹	お	お	か	郎	夫	い	水	上	賢	え	結
		か	し	こ	こ	成	美	た	子	貴	志	子	徳	子	樹	お	お	か	郎	夫	い	水	上	賢	え	結
		な	つ	こ	こ	成	美	た	子	貴	志	子	徳	子	樹	お	お	か	郎	夫	い	水	上	賢	え	結
臨時1 会回	専決処分の報告及び承認について(令和7年度小金井市一般会計補正予算(第8回))	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	承認
	令和7年度小金井市一般会計補正予算(第9回)	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	原案可決
	令和7年度小金井市一般会計補正予算(第10回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	原案可決
	令和7年度小金井市一般会計補正予算(第11回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	予	原案可決
	↳ 議案第3号令和7年度小金井市一般会計補正予算(第11回)の訂正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	承認
	令和8年度小金井市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	○	○	×	×	×	予	原案可決	
	↳ 議案第8号令和8年度小金井市一般会計予算に対する組替え動議(議員提案)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	△	○	×	議	×	×	○	○	×	即	否決	
	↳ 議案第8号令和8年度小金井市一般会計予算に対する組替え動議(議員提案)	△	△	△	△	△	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議	×	○	○	○	×	即	可決	
	令和8年度小金井市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	×	○	×	×	×	予	原案可決	
	令和8年度小金井市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	×	○	×	×	×	予	原案可決	
	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	同意	
	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	同意	
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	総	原案可決	
	小金井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	×	○	×	×	×	厚	原案可決	
	小金井市公民館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	○	○	×	×	○	厚	原案可決	
	小金井市障害者交通手当条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	厚	原案可決
	↳ 議案第23号小金井市障害者交通手当条例に対する修正案(議員提案)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	議	×	×	○	○	×	即	否決	
	小金井市立保育園における乳児等通園支援事業に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	厚	原案可決	
	小金井市市民集会所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	○	○	×	×	○	総	原案可決	
	小金井市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	建	原案可決	
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	異議ない旨の意見提出
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	異議ない旨の意見提出
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	即	異議ない旨の意見提出

全会一致となったもの			
第1 回 定 例 会	令和7年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)、令和7年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第2回)、令和7年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)、令和7年度小金井市下水道事業会計補正予算(第2回)、令和8年度小金井市介護保険特別会計予算、令和8年度小金井市下水道事業会計予算	予	原案可決
	小金井市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、小金井市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例、特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	総	原案可決
	小金井市奨学資金支給条例の一部を改正する条例、小金井市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例、東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約、小金井市介護福祉条例の一部を改正する条例	厚	原案可決
	令和8年度小金井市一般会計補正予算(第1回)	即	原案可決

【会派略称】 み：みらいのこがねい 自：自由民主党小金井 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 子：子どもの権利／情報公開 お：小金井をおもしろくする会
参：参政党小金井 ネ：生活者ネットワーク 街：自民党・街の仲間たち れ：れいわ新選組小金井 見：小金井市政を見える化する会 緑：緑・つながる小金井

広報・広聴協議会を開催しました

小金井市議会は開かれた議会を目指し、広報広聴の充実に向けて協議しています。
【1月30日、2月25日、4月21日】

▼主な協議項目

- ・広報広聴ビジョン・アクションプランの策定
- ・広報広聴のあり方について(各会派)協議提案

▼議会改革の調査

- ・市議会ホームページの各議員紹介ページへのSNSの掲載について

本条例は、電車、バス等の公共交通機関を利用することが困難な障害者に対し、交通手当を支給することにより、移動の促進及び障害者の福祉増進を図るためのものです。

2月18日の本会議において、厚生文教委員会(沖浦あつし委員長)に付託し、計2回にわたる審査を行いました。

3月23日の本会議では、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決しました。

賛成討論(要旨)
鈴木成夫(みらい)



一律支給化の目的は、支給対象者の拡大だけでなく、対象者行政双方に対する利便性向上及び事務負担軽減の観点から評価できる。支給金額も対象者全体のバランスを考慮すれば妥当な設定と判断する。障がい者団体から減額対象者への救済や支援の要望もいただいております。この点も重く受け止め、我が会派でも同趣旨の決議も準備している。

市には、当事者や議会意思を尊重し、障がいの社会モデル実現及び社会的障壁の除去に努める責務を果たす努力を要望する。

障
害
者
交
通
手
当
条
例

閉会中の委員会日程及び審査案件

<p>議会運営委員会 開催日時：5月18日(月)午前10時 5月28日(木)午後2時 審査案件：2件</p>	<p>厚生文教委員会 開催日時：4月28日(火)午前10時 審査案件：10件</p>	<p>庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 開催日時：4月14日(火)午前10時 審査案件：22件</p>
<p>建設環境委員会 開催日時：5月12日(火)午前10時 審査案件：8件</p>	<p>総務企画委員会 開催日時：4月20日(月)午前10時 審査案件：2件</p>	

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。
※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

次の定例会中の委員会で審査する請願・陳情の提出期限は、6月3日(水)午後5時までです。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。



一般質問とは

議員は議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。

議会Q&A

- Q 一般質問はいつ行われるの？
- A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q 質問時間はどのくらい？
- A 1人1回おおむね1時間以内です。
- Q 傍聴はできるの？
- A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

一般質問

(4面～6面) 2月24日、26日、27日、3月2日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。<2次元コードについて>スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上:前半、下:後半)掲載しています。

会派の略称

(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(自由民主党)	自由民主党小金井	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(自民街仲)	自民党・街の仲間たち
(公明党)	小金井市議会公明党	(れいわ新選組)	れいわ新選組小金井
(子ども/情報)	子どもの権利/情報公開	(見える化)	小金井市政を見える化する会
(こがおも)	小金井をおもしろくする会	(緑・つながる)	緑・つながる小金井

「トイレ搭載トラック」ついに導入か！

吹春やすたか (自由民主党)

市長が示した施政方針を拝見し私はビックリした。これまで私が繰り返し提言し続けていたことが複数盛り込まれており、そのことは感謝申し上げる。また、市長は「トイレ防災」という言葉を使っている。これは災害時に断水や下水管の破損で水洗トイレが使えなくなってしまう場合を指し、排せつ環境を維持する備えを「トイレ防災」と東京都では表現している。大災害発災後に避難所等で既往症の影響で命を亡くす災害関連死を防ぐためにはトイレ施策が一番大事だと医療関係の方々から意見を頂



いている。平成30年第一回定例会で「災害用トイレトレーラー」の導入を提案した。それから何度も何度も要望としても質問としても取り上げてきた。その「トイレトレーラー」が「大規模発災時に重要となるトイレ防災については、クラウドファンディングを活用したトイレカーの導入に向け検討する」と示された。導入に関して具体的なスケジュール等はあるのか。

部長 導入は車両に関する事、クラウドファンディングに関する事など整理すべき課題が多岐にわたっており未定である。他市状況なども参考にしながら慎重に検討を進めたい。

地域で作ろう、持続可能な支え合いの街づくり

吉良のりこ (みらい)

介護認定に至る前の段階で、買い物や通院の付き添いなど「生活の中のちょっとした困りごと」を抱える高齢者は少なくない。また、要支援の方が可能な限り自立した生活を維持・継続できるようにすることは、本人の生活の質の向上だけでなく、将来的な社会保障費の抑制の観点からも重要である。介護人材不足を踏まえてボランティアの善意に過度に依存しない「持続可能な生活支援の仕組み」を構築している大阪府大東市の事例もある。(ア)地域包括支援センターの業務内容を見直し、地域住民による支



え合い、担い手確保に注力すべき。(イ)本市の生活支援メニューの見直し、介護支援ボランティアアポイント事業のサービス内容拡充、報酬制度を見直すべき。(ウ)地域で高齢者を支える街づくりの市の今後の方向性は。

部長 (ア)地域づくりと相談業務に注力できる職員体制を構築しているところ。(イ)ボランティアの参加意欲を高める工夫は持続性や公平性の観点からも重要。他自治体を参考に、住民参加による生活支援の在り方について研究課題として慎重に検討していく。

市長 (ウ)市政の最も重要な使命の一つと認識している。

青切符導入に伴う市民のご不安について

小林正樹 (公明党)

4月1日から施行される道路交通法改正で、反則金を伴う制度が導入される。自転車事故の防止、安全確保のためにも、制度内容を理解し安全運転に取組んでいただく必要がある。(ア)反則行為とは。(イ)どのような場合に取締り(青切符)の対象となるのか。(ウ)歩道を走行したら即、取締りの対象となるのか。(エ)車道を走行する為に道路の整備や、(仮称)自転車総合計画の作成を早急に進めないか。



挙げられ、16歳以上が対象となる。(イ)交通違反を警察官が認知した場合、直ちに取締りされるのではなく、基本的にはまず指導警告を行う。ただしその違反が交通事故の原因となるような、悪質、危険な違反であったときには即時、取締りの対象となる。(ウ)13歳未満もしくは70歳以上の方、または身体障がいのある方以外で、単に歩道を徐行して通行しているといった違反については、これまでと同様に、まず指導警告が行われ、即時、取締りされることはない。(エ)快適かつ安全に運転するためには、走行しやす道路環境の整備は欠かせないものと認識している。

部長 (ア)代表的な行為として、信号無視、一時不停止、右側通行、携帯電話使用、遮断踏切立入りなどが

今後の学校の建設計画 財務情報の複式簿記化

天野かな (みらい)

建設業界を取り巻く環境は、人手不足や働き方改革の影響により工期延伸・工費高騰が進み、受注残や受注不可による開発中止が増えるなど、日々深刻化しており、建物を建てたくても建てられない状況が顕在化しつつある。そうした状況を踏まえ、市は建て替えや改修時期を待つだけではなく、修繕対象のトイレの拡大や先行した修繕実施など、代替案も検討すべき。現設計計画の前提条件と現状認識、建て替え遅延に備えた代替案の検討状況は。



識しているが、全リスクを計画に盛り込むことは困難。今後状況に合わせて検討を進めていく。

②学校建設や庁舎建設といった大きな投資は中長期的視点での検証が必要。判断の先延ばしによるコストが増大するリスクを回避し、将来世代の負担も含めた投資の検証をするためには、「現金主義・単式簿記」では見えない減価償却や将来負債を把握する「発生主義・複式簿記」の視点が不可欠。投資判断に資する資料として可能な範囲から開示する考えはあるか。

部長 課題が多く、早期公表は難しいが、公表できよう研究していきたい。

障害のある人もない人も共に働く社会に向けて！

村上ようすけ (れいわ新選組)

障害者就労支援は「雇用施策」と「福祉施策」の2つの体系とも時勢に応じた制度改正を経て拡大し「福祉から雇用」への流れも進展してきたが、「全ての障害者が、その特性や個性、ニーズに応じて能力を有効に発揮できる」状況には達していない。小金井市では5か年の「第2次障害者活躍推進計画」を作成して取り組む。(ア)「障害者就労」全体の現状、課題について問う。(イ)市役所の雇用率・定着率・満足度について問う。(ウ)市役所の就労状況公表について問う。(エ)市役所の就労モデル化・事例公表につ



いて問う。(オ)障害者就労支援センターの機能強化について問う。(カ)支援強化に繋がるハローワークの庁舎内設置について問う。

部長 (ア)就労の困難さ、様々な生活課題を認識。就労支援センターで一体支援している。(イ)法定雇用率を目標にし達成中。7月の引上げに備える。定着率・満足度目標は厚労省の手引に則り設定、検証中。(ウ)公表は未実施、慎重に検討していく。(エ)個人への配慮からロールモデル発信は困難と判断。(オ)短時間労働の市内事業所とのマッチングを調整中。(カ)管轄のハローワーク立川に確認したが、特別な理由がないと難しい。

デジタルレイバーと障がい者の移動バリア可視化

ながとり太郎 (こがおも)

2040年の深刻な労働力不足を見据え、DXを単なるツールではなく、労働力を補うデジタルレイバーとして定員管理とともに考え、DX、行政経営、人事担当の一体的な体制を構築すべきである。

部長 直接の定員算入は想定しないものの、生み出された時間を人員配置の検討材料とする。また、組織の在り方について、より一体的かつ柔軟な経営判断ができる体制を研究する。

障がい者などが安心して移動できるようにするため、市のLINEを活用し、生活道路の段差などのバ



ア情報を収集・蓄積し、また、マッピングパートナーや民間アプリと連携したオープンデータ化による障がい者の移動バリア情報の可視化をしようか。

部長 可視化が外出を過度に制限する懸念があるが、先行自治体の事例を参考に研究する。

③防災力の底上げに向け、市内の街頭消火器の設置場所をオープンデータやマップで公開し、街頭消火器の設置場所の周知と啓発を。部長 事前の位置把握の有効性は認めるが、盗難等の防犯上の懸念から一般公開は控え、防犯と周知を両立する情報提供の手法を研究する。



家賃上昇下の居住支援 アカデコミカルの街



本田宏徳
(公明党)

①転居を余儀なくされた単身高齢者のように、住まい探しに不安を抱える方が不動産会社を訪れた際に、市民協働支援センターに参画を希望する団体を検討すること、窓口の連絡先を記載したカードをお渡しするなど、様々な工夫が考えられる。こうした取組について検討を。
部長 頂いた意見を踏まえ、いろいろな方策があると思うが、検討しながら取組んで参りたい。

誰にもやさしい避難所に 公園で花火を可能に



水谷たかこ
(こがも)

①本市の避難者カードは記入見本やフリガナがなく、日本語を母語としない人や子ども、発災後に混乱した状態の高齢者等にも負担が大きい。他自治体で使われているやさしい日本語や外国語に対応したフォームを使わないか。(イ)誰もが安心して過ごせる避難所運営を目指し、キーマンとなる市民に研修をしないか。
部長 (ア)避難者カードは極めて重要な情報源であり、改善に努める。(イ)様々な機会に知識を共有することは有効な取組である。
②(ア)子どもの声を活かした学校運営は進んでいるか。

RSウイルスワクチンの 早産増加リスク周知求む



藤川賢治
(見える化)

①妊婦のRSウイルスワクチンが、7千人の臨床試験で、RSウイルスによる新生児・乳児の重症化や入院を減らす一方で、統計的有意差は無いものの早産が169人から202人に増加し、2倍になっている。米国は早産の危険性を周知しており、また最近では幼児のワクチン接種をデンマーク並みの10種11回に減らす動きがある。WHOはHPVワクチンの推奨接種回数を3回から1〜2回に減らした。小金井市でも同様の情報を周知しないか。
部長 本市では予防接種法に基づき実施するので、

疾患・有害事象	ワクチン群 (約3500人)	プラセボ群 (約3500人)	差
早産	202	169	+33
出生後360日までに入院(RSウイルス原因)	38	57	-19
出生後360日までに医療機関を受診(全原因の下気道疾患)	504	531	-28

出典：
https://www.fda.gov/media/172126/download
https://www.nejm.org/doi/suppl/10.1056/NEJMoa2216480/

ファッションゴミ対策 生活応援事業について



中井れい子
(公明党)

①衣類について、適正なリユース・リサイクルのための分別・回収を始め、資源循環システムの構築を通じたサステナブルファッションの実現を。(ア)本市の衣料品回収の課題は。(イ)環境省が進める衣類、ファッションの資源循環の認識は。
部長 (ア)週一回回収の布類は原則リユースとなり、雨天の場合、濡れるとリユースできないため、回収判断に苦慮する。(イ)環境省のサイトに掲載されている情報を確認するまでにとどまっています。今後、国でのガイドライン策定や先進自治体の施策の動向等を注視し

日中に活動できる 消防団員確保策の検討を



鈴木成夫
(みらい)

①日中の災害に出勤できる消防団員の減少傾向を踏まえて、災害支援隊の協力や、機能別消防団創設を検討しないか。
部長 平日日中の参集人数確保は重要な課題。災害支援隊は、運用状況を検証しながら、必要に応じて活動内容のあり方を研究する。機能別消防団は、先行自治体の状況や課題を注視し、引き続き研究する。
②大災害発生時に避難所となる小中学校単位で自主防災組織をプロック化し、共通化した避難所開設プログラムを作らないか。
部長 議員提案の一連の

どう防ぐ オーバードーズ!!



遠藤百合子
(自由民主党)

オーバードーズとは、薬の一回あたりの用量を超えて服用することを指し、特に市販薬や処方薬を、症状の改善では無く、感覚や気持ちの変化を目的に大量に摂取するケースが増えている。意図的な過剰摂取は、自殺企図や精神的な逃避行動として行われることもあり、近年オーバードーズが注目されている理由には、10代〜20代の若者に市販薬の過剰摂取が増えていることが挙げられている。特に若い女性で増えており、深刻な社会問題になっている。(ア)現状の認識は。(イ)子どもを含む青少年への

デジタル化による市民の 利便性・満足度向上を



沖浦あつし
(みらい)

(ア)重点支援地方交付金の活用で、マイナンバーカードに口座登録する世帯主に現金給付する方法を選択したが、今後個人への給付の可能性は。(イ)公式LINEを活用し、個人への最短即日給付を実現した先進事例を参考に、本市でも、個人への迅速な現金給付の実現性は。(ウ)CoCoバスの高齢者割引につき、介護保険被保険者証提示の不便解消へ、本市は高齢者割引専用パス発行を検討している。一方、都ではシルバーパスのICカード化、国もマイナンバーカードと交通系ICカードの連携による高齢者等の交通割引を推進し、他市で実装事例がある。本市も、交通系ICカードで高齢者等の交通割引を受けられるようにしてはどうか。
部長 (ア)技術的には可能だが、様々なケースの対応に、給付事務が煩雑で時間がかかる等、課題が大きい。(イ)効果的効果的な給付方法と認識。現在の市公式LINEの実装可能範囲や課題を踏まえ、研究・検討したい。(ウ)導入コストの課題、都や近隣市の動向、どこまで機能を持たせるかという全庁的共通認識の整理が必要。まずは高齢者割引専用パスの導入を目指したい。更なる利便性向上へ、引き続き調査・検討したい。

続・AEDの24時間利用 可能な環境整備を!



清水学
(自民街仲)

AEDがあれば、使用方法を知っていたら、使える人が近くにいれば、救えた命もあったのではないかと悔しい事象も発生している。AEDの必要性は高く、生涯学習課の事例は、屋外設置してあっても鍵がかかっているため、鍵が少なくて使えない環境を少なくする、AEDを24時間利用可能な環境が必要と強く感じ、改めて質問をする。浴恩館公園内の小金井市文化センター入口に自立式で外置き型のAEDが設置された。受付内に設置した場合と屋外に設置した場合の費用差は年間約3万3千円というところであった。この3万3千円の差をどのよ



小金井市文化センターに設置された24時間利用可能なAED

学童保育の全入制は？ 放課後の総合的対策を問う



岸田正義 (みらい)

令和11年に学童保育の平均利用者数は千500名を超え、20施設が新たに必要となる。(ア)弾力的運用による暫定学童ではなく抜本的対策と保育の質の未来像を示すべき。(イ)普通教室のタイムシェア。(ウ)放課後子ども教室の開催時間延長など更なる拡充は可能か。(エ)有料のアフタースクールに特別教室を提供できないか。(オ)市内大規模なアフタースクールを実施できないか。(カ)全入制度を維持するのか。(キ)ピンチは制度や体制を変えるチャンス。企画財政部も含めた庁内横断プロジェクトチームを立ち上げる本気の取組が必要。

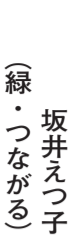
部長 (ア)育成室確保に向けた短期的対策と質の維持向上の中長期的対策に分けて検討する。(イ)課題の整理も含めて教育委員会と連携していく。(ウ)これ以上の量的拡充は難しい。(エ)重要な視点だが今後の研究課題。(オ)包括連携協定締結校を中心に提案することは可能。

市長 (カ)放課後の多様な居場所の拡充とともに学童保育の全入制度は維持すべき。(キ)ニーズに対応できる育成面積を確保できている現状は事実であり、ご提案頂いたことも含めてやり方を変えていく必要がある。庁内一丸となって対策を加速させ課題解決に取り組む。



岸田正義 (みらい)

3・4・12号線が市施行の 優先整備路線案に選定



坂井えつ子 (緑・つながる)

東京における都市計画道路の整備方針案で3・4・12号線(北大通り)五日市街道)が市施行の優先整備路線に選ばれた。(ア)正式に選定されると必ず着手されるのか。(イ)選んだ理由は。(ウ)道幅16mにする広げ方は。(エ)正式に選定されれば、市独自に説明会を開催したいという答弁があった。周知は、地域住民に特化したものや広く市民に向けた市報など丁寧な周知を。

部長 (ア)15年以内に優先的に整備すべき路線として選んだ。これまでの計画では着手できていない路線もある。(イ)市道第12号線は市



3・4・12号線=緑中央通り
南側は新設、北側は拡幅の計画

原発の電気依存しない、 涼しい木陰のある街へ



片山かおる (子ども/情報)

福島原発事故から15年、事故の教訓は自治体政策に反映されているか。事故が収束しない中、東京電力の原発が再稼働される。都民が使う電気のために地方を犠牲にしているのか。脱原発の必要性を発信すべき。

部長 (ア)原発事故の現在の状況は。(イ)原発依存度と利益率の関係は。(ウ)省エネ、再生可能エネルギー利用状況は。

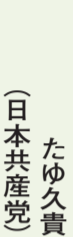
部長 (ア)廃炉作業が継続し長期課題である。被災者避難者の生活再建の道のりはなお途上である。(イ)コスト上昇により他の電力と比べて差はない。(ウ)27施設で再生可能エネルギー導入。

課長 (イ)街路樹管理の基



片山かおる (子ども/情報)

学童保育所の 大規模化への対策を



たけはし たかし (日本共産党)

この間、各学童を利用している子育て世帯の皆さんから様々な意見を伺うことができた。依然として大規模化が進行している十分な保育スペースの確保や指導員の採用難への対策など、安心安全の確保及び保育の質の維持・向上を図る必要があること、予算措置を含む計画的・抜本的な対策が必要なことなど現状の課題や要望を伺うことができた。小金井市は対策を進めるべきである。(ア)指導員の確保について、より充実させるために、市として更なる処遇改善を行うべき。(イ)公共施設総合管理計画及び公共



たけはし たかし (日本共産党)

市内公園で花火を／ごみ 啓発／名勝小金井サクラ



河野麻美 (自由民主党)

体への意識浸透に繋がると考えるが見解は。(イ)粗大ごみオンライン申込が開始したが更なる利便性向上のため分類体系の抜本的な整理品目の拡大、処理券不要の電子決済を導入しないか。

部長 (ア)高い啓発効果が期待でき9年度に向け協議を進める。(イ)他市事例を調査し事務課題を整理し順次利便性向上に向け検討する。

部長 (ア)今夏3公園で3日試行実施。(イ)検討する。

課長 (ア)環境意識を見える形にするためカレンダー表紙に事業の意義を掲げ子ども絵画の意義を掲げ子ども描いた絵をこみ取集車にラッピングしないか。街中を走る車両を啓発の媒体として活用することで市民全



河野麻美 (自由民主党)

行き詰った庁舎等建設 市民意向の確認を



渡辺大三 (子ども/情報)

市民の意向も住民投票や全市民意向調査、1万人意向調査等で確認していく必要があるのではないか。

市長 改めて市民の意向を確認する考えはない。

課長 北大通りと小金井街道の交差点(本町二丁目交差点)は、東の方から来るところには、右折レーンも右折待機場所もない。右折車が多いと長い渋滞を招く。右折レーンは難しいが、横断歩道を下げれば、1台でも2台でも右折待機場所はできるのではないか。

部長 右折待機場所がないため渋滞の一因になっている可能性も考えられる。要望について小金井警察署に伝える。



渡辺大三 (子ども/情報)

新たな図書館建設の 検討を



水上洋志 (日本共産党)

が配置していない。(イ)臨時の介護報酬改定で対象となる。(ウ)再研修費用を予算化した。(エ)環境整備に努める。(オ)給付と負担について市長会が意見をあげている。注視していく。

課長 図書館の延べ床面積は文科省の基準を下回り、図書館協議会からも新たな図書館建設が求められている。今後5年間の計画策定の中で図書館建設の方向を明らかにしてほしい。

部長 施設更新は難しいが理想の図書館像を意見交換していく。

課長 その他、梶野通りなど駅周辺の緑化の促進により、樹冠被覆率の向上を要望しました。



水上洋志 (日本共産党)

低所得者への 経済的支援を行わないか



森戸よう子 (日本共産党)

あっても納付計画が了承できなければ差し押さえを説明している。(イ)断らない相補助を行わないか。(イ)ひとり親家庭への家賃補助を行わないか。

部長 (ア)予算措置を含め適切な時期に提案したい。(イ)貴重なご意見として受け止め、今後研究に努めていきたい。

課長 (ア)差し押さえがあるのに、市が「差し押さえする」と伝える対応は人権問題であり、改めるべきではないか。(イ)滞納者の生活を支えるくらし支えあい条例や債権管理条例を制定しないか。



森戸よう子 (日本共産党)



令和8年度 施政方針に対する各会派の見解

みらいのこがねい

【庁舎及び(仮称)新福祉会館建設について】
「市場動向を注視しながら現設計での3回目の入札に向けて調整を進め、早期建設を目指す。」とした方針について、全庁一丸であるか市長に確認した。その上で、本事業の必要性、竣工後の市民利用のイメージやまちづくりの進展を、市報で特集する等、この機に、広く市民に知らせるべきと考える。
【財源確保～稼ぐ自治体について～】
財源確保策としてクラウドファンディング等を掲

げているが、稼ぐ仕組みを構築するためには、産業振興、都市基盤整備、庁舎跡地の活用等、まちをブランディングして歳入を増やす中長期的なまちづくりのビジョンを示すべきである。
【事務事業評価～最小の経費で最大の効果～】
新たな財源確保に努めるとともに事務事業評価等の仕組みの最大限活用と掲げているが、現行の事務事業評価では、課題をどの位の時間軸でどの程度改善するか目標設定が読み取れない事業がある。事

業の優先順位や見直しには、事務事業評価の仕組みや評価内容に更なる検討の余地があると考え。
【職員の働きやすい環境づくりについて】
働きやすさの推進のために、AIの積極的な導入による作業の効率化や、属人化した業務の標準化を行い、時代のニーズに合わせた事業見直しの上、業務のスクラップ&ビルドを進めるべきと考える。

自由民主党小金井

白井市政4年間の集大成となる施政方針だが、新庁舎等建設の現状には強い懸念が残る。「市場動向を注視し、現設計で3回目の入札にかかる」とするが、それを理由にするならば、昨年の段階で方針を示し、概算費用の検討もできたと考える。昨年の入札不調から半年以上、方針を決めかねているかのような市の姿勢により、市民への不安が広がっていることから、現設計を選択する合理的根拠、判断根拠、妥当性や財政面の裏付けを市民に分かる形で丁寧に示すことを求める。「稼ぐ自治体」への変革についても、いつまでにどの程度の増収を見込むのかという具体的なロードマップが示されていない。物価高騰等で歳出が膨らむ中、言葉ばかりが先行することのないよう具体的なKPIや工程表を明示し、その進捗を検証可能な形で示すことが不可欠である。

日本共産党小金井市議団

物価高騰が長引き、市民生活が厳しい経済状況の中、今定例会には、国民健康保険税の一人平均1万円及び来年4月からの下水道料金の1.2倍の負担増、公民館の有料化、ことぶき理容の廃止、福祉タクシー、心身障害者ガソリン助成、バス、電車も含む交通費手当の変更と合わせ、金額も3,000円を1,100円に引き下げるなど値上げとサービス切り下げが提案された。一方、新庁舎等建設は現設計では131億円の建設工事費を174億円に引き上げ、総事業費は242億円で、3回目の入札を行うとしている。借金は164億円(利子を含む)である。これ以外にも第一小学校の建て替え工事なども目白押しである。私たちは、市庁舎建設の現設計を抜本的に見直してコストダウンを行い、負担増とサービス切り下げをやる修正案、予算の組み替え案を提案した。

小金井市議会公明党

庁舎建設について「3回目の入札に向けて調整を進め早期建設を目指す」という姿勢が示されたことを評価する。早急に財政見直しを示し、ワンチームで臨んでいただきたい。「安全安心なまちを目指し、事故防止、防災、減災施策を強化」とし、自主防災組織強化や防災フェスタの向上を掲げた。防災減災や人のつながりや市民力を引き出すことを中心に据えられているのは、大変に重要な観点だ。確実に推進するため、担当部署の体制強化を要望する。「稼ぐ自治体への変革を目指す」と示された。クラウドファンディング(GCF)で「トイレカーの導入」の検討を挙げられたことは評価するが、GCFは自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道をより具体的に示し共感した人たちから寄附を募る仕組みであるため、稼ぐ自治体に向け更なる具体策を示すべきだ。

子どもの権利／情報公開

①庁舎等建設について。現設計は、入札が2回連続不調、総事業費が242億円に高騰し、実質的に破綻しているが、「早期建設」などと書いて、市民に幻想を与えている。②都市計画道路について。公約に違反して事業に賛成すると東京都に伝えているが、それには触れず、「はけと野川を守る」などと書いており、無責任である。③「子どもの権利の日を制定」と書いているが、公約に違反して市立保育園2園の廃園、3園の定員大幅減を強行しており、子どもの権利をどこまで理解しているのか甚だ疑問である。

小金井をおもしろくする会

市長就任以降、こがおもが重視する政策が前進しており、施政方針に掲げる4つの重要な視点はその具現化である。インクルーシブに配慮した公園とまちづくり、多様な学びを支援するチャレンジクラス、自治体DX・AIの活用、武蔵小金井駅周辺や東小金井駅北口の整備等、市民生活の向上をめざす具体的施策が盛り込まれている。行財政改革や持続可能な自治体経営についても評価する。多様な意見を尊重し合い、ちがいを力に換えるまちの実現に向け、市政を前に進める市長の取組を支持する。

参政党小金井

施政方針では自主財源確保があまりにも軽視されている。「稼ぐ自治体」の具体的政策として、重点地域の都市計画の見直しを取り入れ、市民の資産価値向上による固定資産税の増収と地域の発展、利便性、賑わいのある小金井市を目指すべきである。

生活者ネットワーク

重要課題「都市計画道路の中止を求めること」に関し、公約に反し整備推進の立場が変わったことが読み取れず、市民を欺く表現であり容認できない。インクルーシブな共生社会実現のため「多様性を包摂し、ちがいを力に換えるまち」の具現化を求める。

自民党・街の仲間たち

職員の人材育成に力を入れることが盛り込まれている。職員の皆さんが庁舎から飛び出し、地域と関わり、職員自らのスキルが身につく、その熱量を職場に持ち帰り、職務に役立て、結果として市民サービスに寄与するので、極めて重要な取組である。

れいわ新選組小金井

校内教育支援センターの全校配置と、新たな東中学校でのチャレンジクラス設置は評価するが、更なる多様な学び拡大支援として、当事者から要請の多いフリースクール等、学校以外の学びの場拡充のための市独自の追加学費・運営費助成施策を要望する。

小金井市政を見える化する会

DX/ICTにより市民の健康を守る施策の一つとして「母子保健DX」が提案された。ワクチンを打たすだけにならないよう、またワクチンによる健康被害の実態を周知すること、さらに効果検証のための匿名化健康情報のオープンデータ化を要望する。

緑・つながる小金井

「東京都に対し、2本の都市計画道路整備の中止を求めること」について、「市長報告を踏まえ」との表記に留まっているため、中止を求めるために尽力している市長に読み取れる。3・4・11号線の整備を「容認」したことについて明記しないのは不誠実だ。

小金井市議会BCP(業務継続計画)に基づく、市議会避難訓練を実施しました

訓練の目的

小金井市議会BCP(業務継続計画)には、毎年度1回は議会の防災訓練を行うことと定められています。
災害発生時における議会と議会事務局の体制や行動基準、災害応急対策の内容などを検証・点検し、実効性のある訓練を行うことを目的とします。

訓練内容

- 第1部：屋内消火栓・担架搬送講習
 - 第2部：シェイクアウト訓練
 - 第3部：訓練用消火器の使用訓練
- 協力：小金井消防署



布担架を使用した避難訓練



姿勢を低くし、頭を守り、第一会議室の机下に隠れて地震が収まるのを待つ



訓練用消火器の使用訓練



小金井消防署からの屋内消火栓講習

実施日：令和8年2月19日(木)



屋内消火栓の使用訓練



小金井市議会BCP、
訓練の詳細は
こちらを参照ください



次の定例会は令和8年6月2日(火)開催予定です。

原稿は議員が作成しています